

# まちの話題

## イメージキャラクター「やっぷー」が歌に 「森の妖精やっぷー」が完成

養父市のイメージキャラクター「やっぷー」のイメージソング「森の妖精やっぷー」が完成しました。

作詞作曲を担当したのは、やぶから棒体操でおなじみのフォーデュオ「吉田村」。プナの森からやってきたという設定を基に、自然の大切さなどを歌詞に盛り込み明るいタッチで子どもたちでも口ずさめる曲に仕上がっています。

このイメージソングは、8月15日の「おおやぶるさと祭り」で市民に初披露され、続いてやぶふるさと祭り、せきのみやふれあい祭りでも披露されました。

まつりの会場では、曲を聞いた子どもたちが「やっぷー」や「やっぷー」と楽しそうに口ずさんでいました。

## 五穀豊穡、無病息災を祈る火祭り「万灯さん」

8月24日、三宅で山の稜線に万灯と呼ばれる麦わらの束を並べて燃やす「三宅の万灯さん」が行われました。

三宅地区の住民やウィザスナビ高等学校の生徒たちが協力して作り上げた万灯は、高さ約1.5m、直径約1m、重さは約30kgあります。

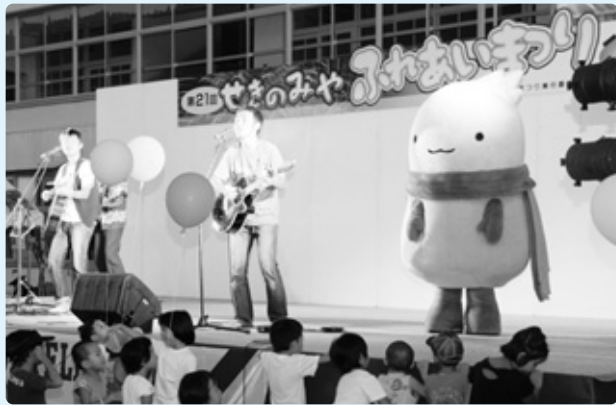
この日、午後7時30分、サイレンの合図と同時に万灯山の稜線に並べられた26基の万灯が一齐に点火され、夜空に「八」の字形に炎が浮かびあがると同時に、山の裾野では子どもたちによる万灯を振る、振り万灯も行われました。

村の氏神様でもある「大与比神社」では、五穀豊穡と無病息災を祈る住民らの盆踊りが、過ぎ行く夏を惜しむように遅くまで行われました。

また、「万灯の湯」では、施設開業1周年を記念して、餅つき大会やお楽しみ抽選会などのイベントも行われ、三宅地区は「万灯」一色となりました。



夜空に浮かびあがる、万灯と振り万灯



せきのみやふれあい祭りで曲を披露する「吉田村」の2人

## 拝啓 市民の皆様

長い夏休みを過ごした子どもたちの声が学校に帰って来ました。きつと、家族とお盆を過ごしたり、地域の行事に参加したり、友達と虫取りに興じたりして、よい思い出をたくさんつくってくれたことでしょうか。

二学期は運動会によってスタートします。各小中学校等では、灼熱の太陽のもと日々練習が行われています。子どもたちにとって運動会は、仲間同士の絆や上級生、下級生の人間関係を築き、仲間同士で競い磨きあうことの大切さを学ぶ良い機会ですが、それ以上に、お父さん、お母さん等と一緒に頑張って競技を楽しんだこと、地域の皆さんが熱烈に応援していただいたことは、郷土愛につながるかけがえのない思い出として心に刻み込まれることでしょう。

私は、人口3万人の実現には、子どもたちの郷土への愛着を養うことが基本であるという考えのもと、小中学校への出前講座を行い、本市のすばらしさを訴えてきました。すべての子どもたちに思いが伝わったとは考えていませんが、八月二十一日の北近畿豊岡自動車道促進大会で発表した子どもたちは、確かに自分の言葉でまちのすばらしさと高速道路への期待を語ってくれました。熱意を持って語りかけると、必ず応えてくれるものです。

子どもたちがこの養父市で過ごす期間はそう長くはありません。保護者の皆さん、そして、学校の先生や地域の皆さん、どうか、子どもたちが過ごすこの貴重な時間に、精一杯養父市のすばらしさを伝え、体験させてあげてください。このことが、養父市の明日を創る一歩になると信じています。

市長 広瀬 栄